

箕面市立市民文化ホール指定管理者選定会議 議事概要

1. 会議の開催状況

- (1) 開催日時 平成26年9月17日(水)午後1時30分から午後3時
- (2) 開催場所 箕面市役所 本館2階 特別会議室
- (3) 出席者 広瀬幸平(地域創造部長)【会長】
中野仁司(総務部理事)【副会長】
半沢芳寛(人権文化部次長)、
柳原健治(有識者)、
生形貴重(有識者)
- (4) 事務局 人権文化部部長・浜田、同部次長・斉藤、
同部市民文化ホール担当専任参事小林、担当主査・長澤

2. 議事概要

- (1) スケジュール及び評価等について
事務局から下記のとおり説明を行う。
 - ・応募者は1団体であったが、当会議において指定管理者としての適否を判断して頂く。
 - ・会議のスケジュールについては次のとおり。
 1. 応募者によるプレゼンテーション(15分)
 2. ヒアリング(15分)
 3. 採点及び集計
 4. 合議による選定
 - ・採点方法
応募書類及びプレゼンテーション・ヒアリングの内容を踏まえて採点する。
評価者1人あたり持ち点は300点とする。
- (2) 提案内容のプレゼンテーションについて
応募者である「公益財団法人箕面市メイプル文化財団」よりプレゼンテーションが行われた。
- (3) ヒアリングにおける主な質疑について
(質問) 施設と稼働率の関係、拡大方策は？
(回答) メイプルホールの大ホールの抽選競争率は4倍です。なかなか大ホールをご利用頂けないことにジレンマがある。平日のホール利用のない場合は、舞台のみで安価に利用できるようにすることで、ホールの本番利用者の利用促進につなげたい。また、リハーサル室の稼働率が高いので、舞台のみ利用、グリーンホールの空き室利用の提案等を行い、分散して利用いただけるようにしていきたい。

- (質問) 業務上横領事件について原因は？ 組織内の問題は？
- (回答) 長年1人の経理事務職員に収納管理が集中した結果、チェック機能が甘く、見抜けなかった。
現在は内外併せて、現金の流れをチェックする体制をつくりました。
- (質問) 監査内容は？
- (回答) 年間4回定期監査実施。現金の流れは確認しているが、通帳チェックまではできていません。
- (意見) 老婆心だが、月1回、必ず外部の方に預金残高帳票をすべてチェックし、残高証明をすべて取るぐらいすれば、安心感がある。
- (質問) 特別提案、中央生涯学習センターの指定管理、10年間指定のメリットは？
- (回答) メイプルホールと中央生涯学習センターは同一建物ですが、現在の業務棲み分けは、お客様にわかりにくい状況があります。指定管理により、お客様の利便性第一、ワンストップのサービスが行えるとともに、現在の財団職員に加えて、新たな雇用が必要ですが、中央生涯学習センター窓口業務等の運営管理を財団が受託することにより、中央生涯学習センター配置の職員数(8人)から3人を削減した人数で運営できるものと考えています。
- (意見) 今回の指定管理は5年である。あえて10年間の指定管理の提案については「効果的な提案かどうか。」姿勢を見る材料とする。
- (質問) 舞台限定の利用は、会議室等で利用している団体やリハーサルでの利用を行う団体を想定していると考えるが、グリーンホールの音漏れ問題に関わる団体の日常的な利用を想定しているのか？
舞台限定での利用の料金によって稼働率が変わるはずだが、舞台限定での利用だと、ホワイエよりも空調経費がかさむのではないか？
料金設定とのかねあいは？
- (回答) グリーンホール大会議室の音漏れ問題は確かにあるので、該当の団体にはホワイエや舞台の限定利用もお願いしたいと考えている。舞台のみ利用の料金は、リハーサル室の1.2倍を想定。
大ホールで練習を行う団体が利用する時間帯についてですが、本番と同じ環境の中で使ってほしい思いからです。練習は平日にはなるが、安い料金で舞台を利用していただきたいという考えである。また、別の部屋で練習すると、本番とは違う音の捕り方になったりするので、本番と同じ空間で音を体感してご利用いただきたい。なお、客席を使わないのが前提で、光熱水費の微増はあるかもしれないが、大ホールの利用を前提にコスト計算している。増えたコストは、経営努力で乗り切りたい。
- (質問) 事業内容の企画運営について
- (回答) 事業の企画については、お客様のご意見を参考に事務局で事業提案の基を作成する。市民の企画運営委員会・各種団体で事業の検討を行った後、理事会で最終決定を行います。なお、事業実施については、市民の皆様と協

働いて作っていくものであり、事業の善し悪しはダイレクトにわかるので、参考にしながら事業を作っていきます。

(質問) 事業のカテゴリについて、どのようなニーズが在るのかは、利用者の声だけではないだろう。これの把握方法は？

(回答) 箕面市全域にアンケートを配布や、他の公共ホールの動向を勘案して、ホールの特性にあったイベントの検討を行います。梅田と同じ事業をする必要はないが、偶には行うことも考慮しながら事業提案をしていきたい。

(4) 各評価者の主な意見

- ・業務上横領があったのに会計事務所の実査が年間4回は甘いように感じる。
- ・今回のプレゼンテーションは非常に解りやすかった。
- ・特別提案など、内容に意気込みが感じられた。

(5) 選定会議としての結論

応募書類、プレゼンテーション・ヒアリングに基づき評価した結果、評価点数は次のとおりとなった。

評価点数 1,033点 / 1,500点

(構成員平均 206.6点 / 300点)

上記点数に基づき判断した結果、公益財団法人箕面市メイプル文化財団が箕面市立市民文化ホール指定管理者候補者として適任である。